

第 61 回日本小児神経学会近畿地方会プログラム

【日 時】 2017年3月18日（土）

*近畿地方会 13時05分開始

*総 会 16時00分～ 16時10分

*特別講演 16時50分～ 17時50分

【テ ー マ】 多様な小児神経疾患への新たなチャレンジのために

【会 場】 大阪市立大学 医学部学舎4階 大講義室
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

【会 長】 瀬戸 俊之（大阪市立大学大学院医学研究科
発達小児医学分野）

【特別講演】

「小児神経学領域における遺伝子解析の意義」

山本 俊至（東京女子医科大学附属
遺伝子医療センター）

次 回 予 告

第 62 回 日本小児神経学会近畿地方会

日 時：2017年10月21日（土）

会 場：大阪市立大総合医療センター さくらホール

会 長：下野 九理子（大阪大学連合小児発達学研究所）

特別講演：「未定」

杉山 登志郎（浜松医科大学児童青年期精神医学講座）

参加者の皆様へ

【受付】4階ロビーにて12時55分より受付を開始いたします。

【参加費】会 員：1,000円
非 会 員：3,000円
非会員研修医：1,000円
非会員学生：無 料

【抄録集】1,000円（会員には事前発送いたします。）

【単 位】日本小児神経学会専門医制度：発表筆頭者3単位、連名者1単位、
参加者5単位
日本小児科学会専門医制度：4単位

【交通案内】大阪市立大学 医学部学舎4階 大講義室
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-31

■電車でお越しになる場合

- ◆ JR大阪環状線・阪和線・大和路線、大阪市営地下鉄御堂筋線・谷町線「天王寺」
近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」
阪堺上町線：「天王寺駅前」
以上の各駅から西へ徒歩約10分

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮下さい。



発表者の皆様へ

【受付・発表時間について】

1. 発表時間の30分前までに発表データをPC受付にご提出ください。
2. 発表6分、質疑4分です。発表時間を厳守して下さい。
3. 発表開始後6分でベルが1回、質疑終了後ベルが2回鳴ります。

【発表使用機材について】

1. 会場に発表用のパソコンをご用意しております。
2. 会場をご利用いただけるパソコンは下記の通りです。
※ Windows 7/8、アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint 2010/2013
3. CD-R (CD-ROM)、USB メモリ持込みの注意点
 - 1) 動画がある場合には CD-R 等のメディアは使用できません。
必ずノートパソコンをお持込みください。
 - 2) CD-R および USB メモリでお持込みの場合は下記の様式で保存してご用意ください。
※ Windows…MS PowerPoint 2010/2013
 - 3) Macintosh の場合は、必ずノートパソコンをお持込みください。
 - 4) フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。
日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
4. プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。
※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。

【ノートパソコン持込みの注意点】

1. OS は Windows、Macintosh が使用できます。
※使用するアプリケーションは PowerPoint のみとさせていただきます。
2. バックアップ用データとして CD-R (CD-ROM) または USB メモリをご持参ください。
またパソコンの AC アダプタは必ずご用意ください。
3. 会場でご用意する PC ケーブルコネクタの形状は MiniD-sub15 ピンです。
この形状に合ったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。

4. スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。

※発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。

第 62 回 日本小児神経学会近畿地方会 演題募集のお知らせ

拝啓 先生方には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、第 62 回日本小児神経学会近畿地方会を下記の日程で開催いたします。一般演題を募集いたしますので、是非多くのご応募をお願いいたします。

敬具

2017 年 3 月

第 62 回会長 下野 九理子
運営委員長 高田 哲

地方会概要

期 日：2017 年 10 月 21 日（土）午後（予定）

テ マ：未定

会 場：大阪市立総合医療センター さくらホール

〒 534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22

- ・ JR 大阪環状線「桜ノ宮」駅下車（東口 2 北東へ約 7 分）
- ・ 地下鉄谷町線「都島」駅下車（2 番出口 西へ約 3 分）

会 長：大阪大学連合小児発達学研究所 下野 九理子

特別講演：「未定」

杉山 登志郎（浜松医科大学児童青年期精神医学講座）

- ①単 位：日本小児神経学会専門医制度にて、発表筆頭者 3単位、連名者 1単位、参加者 5単位、また日本小児科学会専門医制度の研修会として 4単位 算定できます。
- ②募 集：一般演題
- ③応募資格：筆頭演者は本地方会会員であること
- ④応募方法：下記 URL より演題を登録してください。

URL：

- ・演題名に、文字数制限はございません。
- ・抄録本文は「はじめに」「症例」「考察」「結論」が判るよう、850字以内で作成して下さい。
- ・Microsoft Word ファイルは文字化けやレイアウトが崩れることがありますので、確認のため PDF ファイルを作成の上、アップロードしていただくことをお願いいたします。
- ・1週間以内に抄録受領の返信を致します。受領の返信がない場合は下記へお問い合わせください。

演題応募締切：2017年9月 日（ ）必着

演題応募もしくはご入会のお手続き等に関するご質問、その他不明な点がございました場合は下記の問い合わせ先までご連絡をお願い致します。

<演題応募、ご入会等のお問い合わせ先>

日本小児神経学会近畿地方会運営事務局

〒532-0004

大阪府大阪市淀川区西宮原一丁目8番29号

テラサキ第2ビル8階 (株)コネット内

TEL：06-6398-5745 FAX：06-6398-5746

E-mail：kjscn@conet-cap.jp

プログラム

1. ムンプスウイルスに関連した無言症を伴った急性小脳炎の1例

○水沼真也、津田祐子、田村 彰、南 弘一、鈴木啓之
和歌山県立医科大学 小児科

2. コクサッキーウイルス A4 型による急性脳症を発症した Lipid storage myopathy が疑われる幼児例

○梶本昂宏¹、榊原崇文¹、大西智子¹、武山雅博¹、石川智朗¹、大前隆志¹、杉江和馬²、藤井宏真³、村山 圭⁴、西野一三⁵、後藤雄一⁶、嶋 緑倫¹
1. 奈良県立医科大学 小児科
2. 奈良県立医科大学 神経内科
3. 奈良県立医科大学 整形外科
4. 千葉県こども病院 代謝科
5. 国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第一部
6. 国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第二部

3. 特異的な MRI 所見を呈したコクサッキーウイルス B4 型脳炎の新生児例

○中島 健、中井理恵、林 良子、池田 妙、木村貞美、最上友紀子、柳原恵子、鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経科

4. MRI による死因解明画像診断 (Ai) により急性壊死性脳症 (ANE) と診断した1 幼児例

○永瀬静香、親里嘉展、中尻智史、沖田 空、佐々木香織、西山敦史
加古川中央市民病院 小児科

5. 不明熱を契機に Radiologically Isolated Syndrome を呈した1 例

○西山将広¹、松本真明¹、坊 亮輔¹、富岡和美¹、前山花織¹、粟野宏之¹、永瀬裕朗¹、高田 哲²、飯島一誠¹
1. 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野
2. 神戸大学大学院保健学研究科

6. Chronic relapsing inflammatory optic neuropathy (CRION) の1 女児例

○金 聖泰、川脇 壽、九鬼一郎、福岡正隆、井上岳司、温井めぐみ、岡崎 伸
大阪市立総合医療センター 小児神経内科

7. 早期診断に磁化率強調画像が有効でアスピリン療法を開始した Sturge-Weber 症候群の 1 例

○前田真範、水沼真也、津田祐子、田村 彰、南 弘一
和歌山県立医科大学付属病院 小児科

— 14:20 ~ 14:30 休憩 —

てんかん・療育 座長 島川修一 (大阪医科大学 小児科)

14:30-15:10

8. *KCTD7* 遺伝子変異をもつ進行性ミオクローヌステんかんの兄弟例

○山下加奈子¹、瀬戸俊之¹、山本俊至²、保科隆男¹、佐久間悟¹、新宅治夫¹

1. 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学

2. 東京女子医科大学統合医科学研究所

9. ケトン食長期加療中に糖尿病を発症した男児の 1 例

○森未央子¹、熊田知浩¹、柴田 実¹、野崎章仁¹、林 安里¹、日衛嶋郁子¹、井上賢治¹、
佐々木彩恵子¹、藤井達哉¹、丸尾良浩²、松井克之²

1. 滋賀県立小児保健医療センター 小児科

2. 滋賀医科大学医学部附属病院 小児科

10. 当院で経験した *SCN8A* 遺伝子異常症の 1 女児例

○森 篤志¹、島川修一¹、岡本伸彦²、畑中マリ¹、利川寛実¹、荻野元子¹、福井美保¹、
玉井 浩¹

1. 大阪医科大学附属病院 小児科

2. 大阪府立母子保健総合医療センター 遺伝診療科

11. 気管切開例における気管軟化症を含めた臨床的検討

○河崎洋子、松本葉子、西村美緒、八木麻理子
にこにこハウス医療福祉センター

アレイ・網羅的解析 座長 熊田知浩 (滋賀県立こども医療センター 神経内科)

15:10-15:50

12. SNP array により 3p25.3 の重複を認めた XXX 症候群の女児例

○富永康仁^{1, 2, 3}、山下朋代^{1, 3}、広恒実加^{1, 3}、渡辺陽和^{1, 3}、谷川純平^{1, 3}、
岩谷祥子^{1, 2, 3}、下野九理子^{1, 2, 3}、青天目信^{1, 3}、大藪恵一^{1, 3}

1. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科

2. 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所

3. 大阪大学医学部附属病院 てんかんセンター

13. 療育機関においてアレイ CGH 解析を行った 5 例

○八木麻理子¹、松本葉子¹、西村美緒¹、池田真理子²、森岡一朗²、飯島一誠²、河崎洋子¹

1. にこにこハウス医療福祉センター 小児科

2. 神戸大学大学院医学研究科 小児科学

14. アレイ CGH で判明した 17 番染色体短腕微細欠失の 1 例

○保科隆男¹、瀬戸俊之¹、山本俊至²、山下加奈子¹、佐久間悟¹、新宅治夫¹

1. 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学

2. 東京女子医科大学統合医科学研究所

15. *PYGM* 遺伝子に新規変異を同定した McArdle 病の 1 例

○吉田路子¹、千代延友裕¹、藤野雄三²、中村拓真²、田中章浩²、笠井高士²、滋賀健介³、杉江秀夫⁴、平松 有⁵、岡本裕嗣⁵、高嶋 博⁵、水野敏樹²、森本昌史¹

1. 京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学
2. 京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学
3. 京都府立医科大学大学院医学研究科 総合医療・医学教育学
4. 常葉大学 保健医療学
5. 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 神経内科老年病学

— 15:50 ~ 16:00 休憩 —

— 16:00 ~ 16:10 総会 —

脳神経外科 座長 國廣 誉世 (大阪市立総合医療センター小児脳神経外科)

16:10-16:50

16. 嘔吐で発症し、保存的治療で軽快した外傷性小脳梗塞の一乳児例

○野々村光穂¹、佐久間悟¹、内藤堅太郎²、山下加奈子¹、保科隆男¹、瀬戸俊之¹、坂本博昭²、新宅治夫¹

1. 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学
2. 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学

17. 硬膜下出血を併発した骨形成不全症 I 型の男児例

○林 貴大¹、木村暢佑¹、樋口嘉久¹、中森いづみ¹、神鳥達哉¹、関屋朱音¹、石塚 潤¹、池田響子¹、常念大輔¹、赤杉和宏¹、美馬隆宏¹、廣田常夫¹、長谷川高誠²

1. 大津赤十字病院 小児科
2. 岡山大学病院 小児科

18. インフルエンザ菌性髄膜炎後の難治性てんかんに対して二度の焦点切除術を施行した一例

○宇田武弘、中条公輔、馬場良子、渡部祐輔、宇田裕史、Samantha Tamrakar、川嶋俊幸、大畑建治

大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学

19. 臀裂内の皮膚陥凹に対する診療経験

○井筒伸之、竹本 理、山田淳二、千葉泰良

大阪府立母子保健総合医療センター 脳神経外科

特別講演 司会 瀬戸俊之 (大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学分野)

16:50-17:50

「小児神経学領域における遺伝子解析の意義」

東京女子医科大学附属遺伝子医療センター 山本俊至 先生